

保護者による評価 結果と考察・対応

- **地域行事への参画意識**は、高いとは言えない。地域行事の意義の啓発方法と実施時期を検討し、参加を促す必要がある。
- **学校の広報活動、安全体制、小中一貫教育の広報**については高い評価となっている。現状を維持しつつ、随時活動を見直していく。
- **家庭でのコミュニケーション**は低い評価となっている。「あまりよくない」「よくない」との回答が3割を超えている。思春期を迎えた生徒と、どのように接することが効果があるのかを、学級PTAや家庭教育学級で研修したり、学校側から話題を意図的に提供し話し合う場を設定してもらったりする必要がある。
- **学校・PTA行事**については高い評価となっている。今後、PTA会員の減少を踏まえ、会員が過重な負担を感じないように、また、会員全員で取り組めるような活動を模索していく。
- **進路指導**はおおむね高い評価となっている。しかし「普通」との回答が4割近くあり、保護者のニーズに沿った情報の提供をさらに進める必要がある。
- **学校への関心**については、高い評価である。保護者として学校や生徒の情報を積極的に得ることが想定される。さらに充実した広報を行っていく。

- **子どもへの働きかけ**については7割近くが「まあまあよい」と答えている。今後さらに充実させるために、具体的な働きかけの例をPTAで示したり週報で呼びかけたりして、学校と連携した声かけができるようにしていく。
- **学力の実態**については他のカテゴリーと比べると評価が低い。保護者にとって我が子に学力がついているという実感ははっきりもてていないと考えられる。今後は、生徒一人一人に応じた指導を充実していく。さらに、生徒の学力について分かりやすく伝え、学校と家庭が連携して指導していく体制を、さらに整える必要がある。
- **学校環境・雰囲気**については評価が高い。係や担任の日ごろの努力が的確に伝わっていると見える。今後とも、継続していく。
- **担任の受入体制**も評価が高い。少人数のよさを活かした担任のかかわりが適切であると言える。また「普通」の2割については、さらに相手のニーズに合致したかかわりを行っていく。

◎ 調査方法：31の質問項目について学校や保護者自身がどの程度取り組んでいるかを5つの選択肢から、一つ選択させた。そして質問項目を3のカテゴリーに分類した。そして13人の結果の平均値を算出した。

大変よい
まあまあよい
普通
あまりよくない
よくない

